

2023年7月26日

各位

広島市安佐南区祇園3丁目28番14号
株式会社アスカネット
代表取締役社長 松尾 雄司

第28回定時株主総会および懇談会の質疑応答要旨について

2023年7月26日に開催いたしました第28回定時株主総会および懇談会の質疑応答要旨をお知らせいたします。株主総会およびその後の懇談会を合わせまして、以下のとおり、5名の株主様から6件のご質問・ご提言をいただき、役員一同が回答いたしました。

(質問要旨) 空中ディスプレイ事業についてですが、セブンイレブンとマスターカードそれぞれ実証実験していると聞いていますが、採用の目処はいつ頃でしょうか。

(回答要旨) まず、セブンイレブン様の案件の状況ですが、当社はなかなか情報を得にくい立場ですが、間に入っている三井化学様経由でセブンイレブン様の現状をお聞きしたところ、「現在も東京の6か所の店舗で実証実験を継続しており、順調に稼働しています。現在は現場からの要望を収集して今後の展開を検討している状況です。次世代の決済端末の一つとして検討を継続しております。」と回答をいただいております。次にマスターカード様の案件ですが、こちらは海外代理店経由の案件であり、その先にも数社が絡んでおり、なかなか情報をいただけない状況ですので、ご理解のほどお願い申し上げます。

(質問要旨) 昨今、生成AIが出てきているが、フューネラル事業においてどのような影響があるとお考えでしょうか。

(回答要旨) 我々も従来のAIそして、生成AIでどのような写真加工ができるか、活用方法はあるかなど研究を継続しているところです。複雑な遺影写真の加工は単にAIを使って加工できるものではないですが、研究を続けながら活用を検討してまいりたいと考えています。

(質問要旨) 空中ディスプレイ事業の売上が伸びており、それは大いに結構なことです。今後も更に伸ばしていくにはワールドワイドな売上の拡大が必要と思われます。そのような中、松尾社長が代理店の一つである Holo Industries の取締役を兼務されていますが、今後どのようにして拡販していくかお聞かせください。

(回答要旨) Holo Industries 社からの要請により社外取締役に就任しております。Holo 社の今後の方向性をディスカッションするとともに、我々の生産体制とうまく連動させるよう調整を図っています。また、どのような業界で販売すればよいかや、技術的なアドバイスをするなど、当社の知見を提供して販売の拡大に寄与して参りたいと思っております。

(質問要旨) ASKA3D プレートは樹脂製とガラス製があるようですが、それらはどのような違いがあるのでしょうか。また、文字などがはっきり見えればプロンプターなど活用が広がると思いますが、その辺はどのようにお考えでしょうか。

(回答要旨) 樹脂製のプレートとガラス製のプレートでは、特性が異なります。現在は樹脂製の方がピッチが細かいので、結像の解像度が高いです。一方、光学的な特性からガラス製の方が、樹脂製より明るく結像します。ガラス製でも細かな文字が見えるような研究も行っておりますし、樹脂製のプレートでももう少し明るい結像が出来ないかも研究しております。

(質問要旨) 空中ディスプレイ事業において、競合他社はあるのでしょうか。

(回答要旨) 当社と異なった方式ではありますが、国内で3～4社程度の競合はありますが、徐々に減りつつあります。また、海外では中国において、そのような会社もあります。

(質問要旨) 空中ディスプレイ事業についてですが、ASKA3D プレートの量産化はいつぐらいに確立できるのでしょうか。

(回答要旨) 現在すでに樹脂製プレートについては月産3,000枚～10,000枚の生産が可能です。それ以上の量産化となりますと、継続的な受注量との兼ね合いになりますので、具体的な時期についての回答は、控えさせていただきたいと思いますが、多くの受注を獲れるよう営業に注力してまいります。

以上